

中学校音楽科採点基準

4枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 〔例〕		採 点 上 の 注 意	配 点					
1	1	(1)	楽曲名	剣の舞	内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 3 × 6				
			作曲者名	ハチャトゥリヤン						
		(2)	楽曲名	ハバネラ			内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 2 × 6		
			作曲者名	ビゼー						
		(3)	楽曲名	結婚行進曲					内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 3 × 6
			作曲者名	メンデルスゾーン						
	2	(1)	熱情的に		内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 2 × 6				
		(2)	brillante							
		(3)	歌うように							
		(4)	表情豊かに							
		(5)	荘厳に							
		(6)	おどけて							
	3	(1)	詩の各節が同じ旋律を繰り返すように作曲された歌曲。		内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 3 × 6				
		(2)	詩の各節に新しい異なった旋律が付けられる歌曲。							
		(3)	内容的にも性格的にも相互に関連のあるいくつかの歌 曲が一定の順序で配列されて、全体でひとつの音楽的ま とまりをもっているもの。							
		(4)	4小節ずつの前楽節と後楽節でできている形式。							
		(5)	2つの部分（A、B）からなる形式。							
		(6)	3つの部分からなる形式。このうち、第1部と第3部は 同一、あるいは類似した性格をもつ。							
	4	(1)	(ウ)			各 2 × 3				
		(2)	(カ)							
		(3)	(ア)							

中学校音楽科採点基準

4枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 〔例〕		採 点 上 の 注 意		配 点	
1	5	(1)	作品が作曲された当時の形状に復元された楽器のこと。		内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	3	6 1
		(2)	①	木製で、指孔を押さえて様々な高さの音を出す、横笛式 のフルート。	内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 3 × 4	
			②	西洋梨を縦に割ったような共鳴胴と、そこから張り出 した棹をもつ、複弦の撥弦楽器。			
			③	ヴィオール属の中で最も低い音域をもつ弓で演奏する 楽器。フレットが付く。			
			④	16～18 世紀に最も栄えた鍵盤楽器。鍵盤をたたくと、 弦が爪で弾かれて音が出る仕組みになっている。			
		(3)	①	(ア)		各 2 × 3	
			②	(エ)			
			③	(カ)			
	6	※ 別紙 (計1枚)		問いを正しく捉えてい れば、内容は異なってい てもよい。	4 0		
	2	1	旋律を知覚し、その働きが生み出す特質や雰囲気を感じなが ら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どの ように歌うかについて思いや意図をもっている。		内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	5	

中学校音楽科採点基準

4枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
2	題材名（民謡の節回しに関心をもち、特徴を生かして歌おう）	題材名及び学習活動は、問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。	50	
	時間			学習活動
	1			○「ソーラン節」の節回し及び声の音色や響きに関心をもち。 ・地域の指導者による「南部牛追歌」、「酒づくり歌」、「ソーラン節」の演奏を聴いて印象などを自由に話し合う。 ・「ソーラン節」について教師の説明を聞く。 ・「ソーラン節」について、図形楽譜を見ながら、地域の指導者による演奏を聴いたり、地域の指導者と一緒に歌ったりして、発声や旋律の特徴を捉える。 ・捉えた特徴を学級全体で発表し合う。 ・発表し合った「ソーラン節」の発声や旋律の特徴を、実際に歌って確認する。 ・「ソーラン節」の発声や旋律について気付いた特徴をワークシートに書く。 ・地域の指導者と一緒に体を動かしながら「ソーラン節」を歌う。
2	○第1時の学習を想起して「ソーラン節」を歌う。 ・地域の指導者と一緒に「ソーラン節」を歌う。 ・前時に書いたワークシートを見て、「ソーラン節」の旋律について気付いた特徴を想起し、再度体を動かしながら「ソーラン節」を歌う。 ○「ソーラン節」の旋律を知覚し、その働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 ・合唱に編曲された「ソーラン節」を聴いて印象などを自由に話し合う。 ・合唱に編曲されたものと、民謡の「ソーラン節」とを歌い比べながら、それぞれの節回しについて気付いた特徴を発表し合う。 ・民謡の「ソーラン節」の特徴を生かすための発音や節回しなどについて、他の生徒や地域の指導者と歌い試しながら話し合う。 ・民謡の「ソーラン節」の節回しが生み出す特質や雰囲気を生かしてどのように歌うかについての思いや意図をワークシートに書く。 ・ワークシートに書いたことを発表し合い、ペアやグループで歌い試しながら歌唱表現を創意工夫する。			
3	○創意工夫を生かして「ソーラン節」を歌う。 ・第2時で取り組んだ歌唱表現の創意工夫を想起しながら、「ソーラン節」を歌う。 ・地域の指導者が提示する発声、言葉の発音、呼吸する際の身体の使い方などを様々に試しながら「ソーラン節」を歌う。 ・ペアやグループでどのように歌うかについての思いや意図を再確認するとともに、考えが変わったりより具体的になったりしたところがある場合は、ワークシートに加筆する。 ・思いや意図をもって「ソーラン節」を歌う。 ・地域の指導者と一緒に「ソーラン節」を歌い、題材における学習を振り返ってワークシートに書く。			

中学校音楽科採点基準

4枚のうち4

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点	
3	1	生徒がまとまりを感じ、その根拠を〔共通事項〕アと関わらせた指導によって明らかにしていく過程が大切である。例えば、複数の参考作品を例示し、生徒が「まとまりがある」と感じるものと「まとまりがない」と感じるものとを比較し、その要因を探り、まとまりのある音楽をつくる際の工夫点を見いだしていくなどの学習が考えられる。その際、歌唱や器楽、鑑賞における既習曲などを参考にすることも有効な手段の一つである。	問いを正しく捉えてい れば、内容は異なっ てよい。	6	15
	2	ハ長調の音階から音を選んで、ハ長調の特徴を生かした2小節の動機をつくっている。	内容を正しく捉えてい れば、表現は異なっ てもよい。	各 3 × 3	
		まとまりのある感じを生み出すための根拠に基づいて、つくった動機を反復、変化させたり、重ねたりして、音楽をつくっている。			
4	1	① 電子楽器		各 3 × 2	15
		② 1			
	2	笙、箏、竈篋、高麗笛、神楽笛、能管、篠笛、尺八 など	3つ書かれていれ ばよい。 内容を正しく捉えてい れば、表現は異なっ てもよい。	各 3 × 3	

1

6

著作権保護の観点により、掲載いたしません。